

レポート

- 提出日は最後の授業の授業中まで
 - 事前に提出の場合は事務室
- Wordで作成し印刷して提出
- 計算にはExcelを使用すること
- データは
 - http://www.ae.keio.ac.jp/~satoru_y/sho uei/Report07.xlsからダウンロードすること

2007/11/27

レポートの内容

1. 記述統計

1. 平均、分散等の計算
2. 度数分布表・ヒストグラムの作成
 - 階級の値は与えてある
 - 分析ツールを使ってよい
 - 累積%も表示させること
 - ヒストグラムは頻度の系列において「データ系列の書式設定」より棒の間隔を0にすること

2007/11/27

レポートの内容

2. 回帰

1. 相関係数の計算
2. 散布図の作成
 - グラフタイトルや縦軸・横軸の名前は不要
 - 凡例も不要
 - 縦軸・横軸ともに「軸の書式設定」から目盛の最大値・最小値を適当に調整すること
3. 単回帰式の算出
 - 散布図上で「近似曲線の追加」、分析ツール、Excelの関数等何を使ってもよい

2007/11/27

レポートの内容

3. 検定・信頼区間1

1. Z検定・信頼区間の計算
2. 平均の差のt検定・信頼区間の計算
 - どちらも両側検定とする
 - 信頼度は0.95とする
 - 帰無仮説・対立仮説を明記すること

2007/11/27

レポートの内容

4. 検定・信頼区間2

1. 等分散性の検定
2. 平均の差の検定・信頼区間の計算
 - Z検定の結果によって平均の差の検定の方法を変えること
 - 帰無仮説・対立仮説を明記すること
 - 信頼度は0.95とする
 - データ2の標本の大きさが9であることに注意

2007/11/27

レポート作成について

- Wordで作成
 - 表紙ページは不要
 - 1ページ目の上に
 - レポートタイトル(「情報処理(統計学を含む)レポート」など)
 - 学籍番号・氏名を明記する
 - フォントの大きさは自由(常識の範囲で)
 - 必要な計算結果等は必ず載せること
 - データは載せても載せなくてもよい
 - ヒストグラムや散布図はExcelからコピーアンドペーストでWordに張り付けること

2007/11/27